

講師	米沢(鎗木)陽子(看護学科 客員教授) 天日 倫代(元非常勤講師)
開講日時	6月17日(土) 14:00～16:00
会場	東京純心大学(江角記念講堂)
内容	教会カンタータやオルガン作品など数々の教会音楽を生み出したJ.S.バッハは、一方で多くの優れた室内楽作品も残しています。昨年度から始まったこのシリーズでは『ヴァイオリンとオブリガートチェンバロのためのソナタ』(BWV1014-1019、全6曲)を取り上げ、ヴァイオリンとオルガンの二重奏という形でお届けいたします。(オルガンがチェンバロのパートを担当いたします) 第2回となる今年度は、ソナタ第3番ホ長調 BWV1016とソナタ第4番ハ短調 BWV1017を取り上げる予定です。
対象	小学生以上
定員	先着100名(小学生は保護者同伴) 定員になり次第締め切ります。
受講料	小中高生無料 18才以上1,000円
持ち物	筆記用具
備考	なるべく公共交通機関をご利用ください。 お車で越しの場合は、お申込み時にお申し出ください。

## 講師プロフィール



**米沢(鎗木)陽子(オルガン)**:東京藝術大学大学院博士後期課程(バロックオルガン専攻)修了、博士号取得。カトリック山手教会、目黒教会オルガニスト。日本音楽学会、キリスト教礼拝音楽学会、日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。関東学院大学非常勤講師、立教大学キリスト教学研究科特任教授、東京純心大学客員教授。

**天日倫代(ヴァイオリン)**:東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同大学在学中 Asian Youth Music Camp にてコンサートミストレスを務め、Brett・Deanと室内楽等をも共演。同大学卒業後東京ゾリステン(チェンバーオーケストラ)へ入団。日本弦楽指導者協会主催・岩崎洋三(東京藝術大学名誉教授)による「ドント作曲24のエチュード Op.37」研究発表講座に於て全24曲模範演奏。ワシントンD.C.郊外でリサイタルを開く。アメリカ國務省サロンに於てモーツァルト作曲ヴァイオリン・ソナタを演奏。現在はフリーにて演奏活動を行っている。元東京純心女子短期大学(現・東京純心大学)音楽科非常勤講師。

## 講師からみなさまへ

バッハのヴァイオリンソナタ全6曲(BWV1014-1019)を3年計画で1回2曲ずつ取り上げ、楽曲解説、バッハにまつわるさまざまなエピソード、演奏者による対談などを織り込みながら、バッハの室内楽の世界へのご案内いたします。2つの楽器が織りなす調べ、そして2人の奏者の対話をお楽しみください。